

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書
(平成30年度)

園名 (エンゼル認定こども園)

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○教育理念、基本方針、教育・保育目標が明確化され、一人一人の子どもたちの特性や家庭環境に配慮した、丁寧で安定した保育を実践している。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○様々な行事等の中で、計画的に異年齢の子どもたち同士の交流を図っている。 (年長児の鼓笛隊の練習の音に、0・1歳児が興味を持って反応し、楽しそうに体でリズムを取るなど、日頃の交流が感じられる。)
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○自由遊びの中で、子どもたちは、園庭の特性を生かし、伸び伸びと遊ぶ場面が見られた。保育教諭たちは、困っている子どもたちの様子から、困っているいきさつや心情等を共通理解し、一人一人に寄り添った保育支援に努めている。
IV	小学校との連携	○小学校と就学のための連絡会(年2回)を行い、運動会や音楽会の予行演習への招待等交流の機会を設けている。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○保育理念や基本方針を記載した入園のしおり及び重要事項説明書を入園説明会時に配布し、説明している。参観日等の行事では、園長が理念や基本方針を盛り込みながら挨拶を行っている。また、園だよりやクラスだより等に記載して配布したり、ホームページにもUPしたりしている。

VI	保育教諭の資質向上のための取組	<p>○キャリアアップ研修、障害児研修、人権研修とともに、外部研修と伝達研修、園内研修等さまざまな手法により研修会を実施している。</p> <p>また、定期的に職員会議や各種会議を開催し、経験を積んだ職員からの助言等を得ている。保育上の悩み等の相談に応じ、適切な助言を提供している。福利厚生にも注力している。</p>
VII	安全管理	<p>○危機管理マニュアルを整備し、地震・火災時避難訓練・不審者対応訓練を計画に沿って実施している。事故、感染症の実例を用いて園内研修を実施し、職員会議で、当月のヒヤリハット事例について報告、検討を行いタイムリーに周知している。アレルギー疾患に対して、指示書等に基づいて適切に対応している。</p>
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<p>○園庭開放、子育て広場（リトルエンゼル）等を通じて、地域との交流・子育て支援に取り組んでいる。近隣小学校との就学のための連携、また、高校生の保育体験への協力、地域のまつりでの太鼓来訪等でも連携している。地域の農家とは、もち米の収穫から餅つきへとつなげ、食育面でも連携している。</p>
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	<p>○児童虐待及びその防止に関して、こども家庭センター等の関係機関と連携を図っている。</p>